

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 11月 16日

【評価実施概要】

事業所番号	0170400642		
法人名	サッポロ・ライフケア 株式会社		
事業所名	グループホーム 虹の家 琴似		
所在地	札幌市西区八軒3条東2丁目2番12号 (電話)011-612-6020		
評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成21年11月14日	評価確定日	平成21年11月26日

【情報提供票より】(平成 21年 11月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <u>平成</u> 14年 7月 16日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 常勤 8人、非常勤 0人、常勤換算 6.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	2階建ての 1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000~49,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費:22,000円	
敷金	有(円) <u>無</u>		暖房費:5,000円(10-3月)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) <u>無</u>	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	365 円
	夕食	365 円	おやつ	104 円
	または1日当たり		1,134 円	

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	8 名	男性	0 名	女性	8 名
要介護1	4 名	要介護2	1 名		
要介護3	1 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.5 歳	最低	74 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	琴似ファミリークリニック、静和記念病院、宮本歯科
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅地の中にある1ユニットの家庭的なグループホームである。室内は清潔で、季節の飾りや馴染みの遊び道具、品のよい調度品が飾られ親しみのある雰囲気を作っている。2階に共同スペースを設けたり、随所に椅子を配置するなど、利用者がくつろげる場所を多く確保している。地域との関係づくりに積極的に取り組み、共同でお祭りを開催するなどの成果もあげている。介護計画や記録類が整備され、自己評価への理解が深く、取り組みも充実している。経営者や管理者がサービス向上に向けて熱心に取組んでおり、職員にも思いが浸透している。また、サービス向上に向けた内部研修も充実している。職員間の人間関係が良好で、お互いに意見を出し合える関係を作っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前年の外部評価の「取り組みを期待したい項目」について、家族意見の反映や職員の教育などの項目を中心に段階的に取り組んでいる。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は職員一人ひとりが評価表を作成した上で取りまとめている。それぞれの項目の理解度も深い。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は町内会役員や地域包括センター職員、利用者、利用者家族などが参加して3ヶ月に1度程度開催され、活動報告のほかサービス評価、ホームの質の向上などをテーマに意見交換がなされており、議事録も整備されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関横に意見箱を設置したり運営推進会議で家族の意見を収集しているが全体的に要望は少なく、家族の帰り際にさりげなく意見を聞くなど試みている。重要事項説明書に外部の苦情受付機関について住所や連絡先を細かく明示している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームと町内会で合同の夏祭りを開催するなど地域との深い関係を築いている。また近隣の子供たちがホームを訪れ歌を歌ってくれたり、ギターのパランティアの訪問を受けている。回覧板を見て地域の行事にも積極的に参加している。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の一人一人の尊厳と人格を尊重することを目的とした運営理念があり、その他に3項目からなるケア重要目標を掲げている。これらの文言の中に「地域住民との日常的な交流を深める」点についても今後加えていく方針としている。		ホームで取り組んでいる「地域住民との日常的な交流」を深める点についても理念などに加えられることを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念を朝の申し送り時に職員が唱和している。また職員は、理念を記したカードを携帯し、テーマである「尊厳と人格の尊重」を常に意識した介護に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームと町内会で合同の夏祭りを開催するなど地域との深い関係を築いている。また近隣の子供たちがホームを訪れ歌を歌ってくれたり、ギターのパランティアの訪問を受けている。回覧板を見て地域の行事にも積極的に参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員一人ひとりが評価表を作成した上で取りまとめている。それぞれの項目の理解度も深い。前年の外部評価の「取り組みを期待したい項目」についても家族意見の反映や職員の教育などの項目を中心に段階的に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は町内会役員や地域包括センター職員、利用者、利用者家族などが参加して3ヶ月に1度程度開催され、活動報告のほかサービス評価、ホームの質の向上などをテーマに意見交換がなされており、議事録も整備されている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域包括センターから運営推進会議に2名の参加を得ているほか、管理者が区の管理者会議に参加し、市の担当者と情報交換を行っている。役所には運営会社の部長が直接出向き、手続きの相談や情報交換などを行っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>写真を多用したカラフルで見やすいホーム便りを毎月作成し家族に送付しており、その際に個々の金銭出納の報告も行っている。利用者の様子は、ホームページでもパスワードを使って閲覧できるようにしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関横に意見箱を設置したり運営推進会議で家族の意見を収集しているが全体的に要望は少なく、家族の帰り際にさりげなく意見を聞くなど試みている。重要事項説明書に外部の苦情受付機関について住所や連絡先を細かく明示している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はほとんどない。職員が退職する場合は、利用者にダメージを与えないよう辞職後落ち着いてから報告するようにしている。新入職員については、利用者の信頼関係が早く築けるように馴染みの職員がフォローをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修を各種のテーマで代表者が講師となって月1回程度実施している。外部研修も各職員に参加機会が年に1回以上計画的に与えられており、受講後の報告と情報共有化もなされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>区のグループホーム管理者連絡会に管理者が参加している。管理者会議には職員も参加でき、別のグループホーム職員とのグループ討論の機会も持っている。他のグループホーム職員の訪問を受けることもある。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>半数程度の利用者が利用開始前にホームを見学を訪れ、納得した上で入居している。その他、入院中などの理由で本人が来られない場合は管理者や職員が本人を訪問し、馴染みの関係を築いている。入居後も職員は利用者に親しみをもちもらえるように工夫した会話で、ホームに早く馴染めるように促している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>居室の掃除や衣類の整理など利用者のできることを職員と一緒にしている。夜勤などで利用者が職員に「今日は、頼むね」「ごくろうさん」などのねぎらいの言葉をかけてくれることが多い。普段から共に支え合う関係を築き、いたわりの言葉を掛け合っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者、職員ともお互いに、開設時まもない時からの長い関係にあるケースが多く、思いや希望をしぐさや表情などから概ね把握できている。センター方式による24時間アセスメントシートを毎年更新し、情報の充実を図るとともに共有化もなされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	当初の作成時は、センター方式によるアセスメントをもとに本人・家族と話し合って介護計画を仮作成し、実際に介護にあたった後、職員間で相談して本計画を作成している。作成された計画は家族に説明し確認のサインを得ている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	見直し期間を3ヶ月に設定し、介護計画を作成している。変化がある場合の都度の見直しも行われている。毎日の申し送りや記録、毎月のカンファレンス会議の討議内容が介護計画の見直しに役立てられている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	通院や買い物の送迎を行ったり、訪問の理美容を利用している。利用者が入退去する際の引越しの手伝いも行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>提携医療機関による月2回の往診を受けており、月4回の訪問看護も受けている。利用者の元々のかかりつけ医への受診についても、家族が送迎できない場合に支援を行っている。家族が送迎する場合でも、変化がある場合などは職員が同行している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用開始時に「重度化した場合の対応に係る指針」を作成し、利用者および家族に説明し書類を取り交わしている。医療機関との連携体制、看取りに関するホームの考え方を説明している。また、実際に複数の看取り介護も経験している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>普段の呼び方や声かけ、トイレ誘導など利用者の誇りやプライバシーに配慮した対応を行っている。個人の記録も事務所スペースに安全に保管・管理している。前年の取り組み事項である来訪者の受付簿については現在は一覧形式のままである。</p>		<p>受付簿は他の来訪者の露見を避けるために、一覧形式から個別のカード(帳票)方式に変更されるよう期待したい。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者は大まかな食事時間のほかは自由に過ごすことができる。個々のしたいことを尊重し、買い物や散歩の支援を行っている。ホーム内での体操やレクリエーションも無理強いせず本人の希望にあわせている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえ、下膳、食器洗いなど利用者に参加してもらっている。旬の食材を取り入れた彩りの豊富な食事が提供されている。職員は利用者と一緒に必要に応じて介助しながら食事を摂っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後1:30~3:00の時間帯を中心に毎日入浴可能で、各利用者は週2回以上の入浴を行っている。入浴を嫌がる場合もあるが、上手に誘導し入浴してもらっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物干しや食器洗い、居室の掃除、ふきん縫いなど各利用者ごとの役割を持ってもらっている。習字や編み物など個々の趣味の活動も支援している。ギター演奏やフラダンスのボランティアを受け入れ、利用者を楽しんでもらっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの公園に毎日のように散歩に出かけている。季節に応じた行事計画を立て、雪まつり見物や花見、紅葉ツアーを行っており、外食機会も作っている。一方、冬期間の外出機会はやや不足している。		冬期間でも車で外出するなど安全を確保しながら、何らかの形で外出機会を増やせるよう取り組みを期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関の鍵はかけていない。建物の構造上玄関が死角のため、利用者の出入りがある場合はブザーが鳴り、利用者の外出がわかるようにしている。職員に声かけせず外出した場合は制止したりせず、さりげなく職員が付いて行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>近くに消防署があり、協力を得て年2回程度の避難訓練を実施している。夜間を想定した訓練も行われ地域の方の訓練への参加も得られているが、職員の救急救命訓練の受講は十分とはいえない。</p>		<p>職員全員が緊急時に冷静に対応できるよう、2年に1度程度、救急救命訓練を受講されることを期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食材は献立とともに専門の委託業者から取り寄せており、カロリーや栄養バランスなどの管理ができています。毎日の記録に食事や水分の摂取量を記録しており、個々の状況に応じて調理方法を調整している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は清潔に保たれ、施設に応じた家庭的な装飾が施されている。洗濯機に手作りのカバーをかけるなど温かな配慮が見られ、馴染みの調度品も随所に置かれている。様々な場所に椅子が配置され、2階にも共用空間があり利用者同士が楽しめる場所となっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の居室には馴染みの家具、生活用品が持ち込まれ安心して過ごせる場所となっている。室内の壁にも利用者は自由に飾り付けを楽しんでいる。各居室に温度計を設置し室温に配慮している。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開するには、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。